

人と人をつなぐ



みなさんの健康と心の支えに

新潟厚生連

糸魚川総合病院

理念

1. 私たちの病院は、医療・保健・福祉をととして地域社会へ貢献します。
2. 私たちは、病院での仕事をととして自己を高めます。

基本方針(ビジョン)

- 働きかた改革 : 仕事が終わったら新幹線にのって東京、軽井沢、北陸へ
高度医療と標準医療 : 医療の進歩のなかに身を置く経験
慢性期医療、福祉 : 優しさと忍耐を経験する
教育 : 一生学べる場が身近にある場所

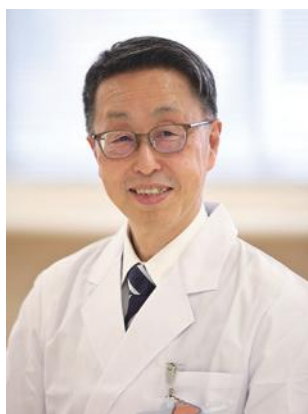
患者さんの権利尊重

私たちは、患者の皆様の人格と価値観が保たれるべく、下記の権利を尊重します。

1. 適切で良質な医療を受ける権利
2. 自己決定の権利(治療計画立案に自ら参加し、決定することができます)
3. 情報を得る権利(医療側への質問や情報公開を求めることができます)
4. プライバシーが保障される権利(個人情報やプライバシーが厳正に保たれます)
5. 選択の自由の権利(医療行為の選択はもちろん、病院の選択・変更ができます)

病院沿革

昭和 13年	3月	上越医療購買利用組合連合会上越病院の糸魚川分院として開院
昭和 16年	3月	上越病院糸魚川分院から糸魚川病院へ改称
昭和 27年	4月	現在の新潟県厚生農業協同組合連合会に経営移管
昭和 41年	4月	救急告示病院認可
平成 3年	12月	病院移転新築・総合病院認可
平成 5年	4月	介護老人保健施設「なでしこ」開設
平成 8年	11月	災害拠点病院指定
平成 9年	4月	在宅介護支援センター開設
平成 9年	8月	訪問看護ステーション「いといがわ」開設
平成 11年	4月	健診センター「すこやか」開設
平成 11年	10月	居宅介護支援事業所開設
平成 15年	2月	へき地中核病院認可
平成 16年	3月	基幹型臨床研修病院指定、協力型臨床研修病院指定(富山大学)
平成 17年	9月	協力型臨床研修病院指定(新潟大学)
平成 22年	2月	地域包括支援センター開設
平成 25年	11月	新潟DMAT隊指定医療機関認定
平成 26年	4月	DPC対象病院
令和 2年	2月	糸魚川膵臓・胆道センター開設
令和 2年	9月	原子力災害医療協力機関登録
令和 3年	3月	介護老人保健施設「なでしこ」閉所



ワクワクしよう



病院長の山岸です。この文章を書きながらとてもワクワクしています。なぜか。このパンフレットを読んでいただきたい相手がいつもと違うからです。病院のパンフレットというと普通は患者さんやそのご家族に向けたものです。こんな治療ができます、こんな設備がありますという説明ですね。もちろんそういった案内は大事ですが、それよりもこれを読んでくれた皆さんが病院の仕事に興味を持ってくれる。そう考えるとワクワクしないではいられません。

ところで僕が生まれたのは昭和の半ばです。当時は子供も働き手も増え、なんでもかんでも力任せに先進国の真似をすることで急に豊かになった時代でした。進歩と発展がキーワードとしてあふれ受験戦争、通勤地獄といった問題がテレビをにぎわしていました。しかし医療はゆったりとして余裕があったと思います。平成になると人は増えなくなり経済活動もスローダウン。一方で医療情報は爆発的に増え始めました。そして令和の今、人口、特に働き手が減り業種によって発展と衰退が明確に分かれていく時代になりました。医療情報は引き続きとんでもない速度で増えていますが、医療をおこなう環境はむしろ窮屈になってきている。

そうです。これからの時代の病院は放っておけば進歩に追いつくために少ない人たちが馬車馬のように働くブラックな職場ばかりになってしまいます。そうならないように糸魚川総合病院は時代の変化を見据えた対応を急ぎはじめました。確実な標準治療と独自性の強い高度医療、優しさのある慢性期医療の実現、そしてここが大事なのですが働き方改革をとおしてスタッフが豊かな生活ができる、そんな職場を作ろうとしています。人が減る中でそんなことできるの？ と疑問に思うかもしれません。しかし先行してうまくいった産業があります。皆さんの周りにある農業。国の補助でなんとかやっていると批判されていた農業です。農業人口は平成のあいだに500万人からなんと160万人まで減りました。しかし会社組織を作る、スマート農業を進める、新規作物に手を出すなどのイノベーションをおこなったことで農業生産額は9兆円を維持。労働人口が減ったことを考えれば生産性はとんでもなく上がっています。しかも究極のフレックスタイム制なので子育てしやすい。若い人が参入しています。

イノベーションは順風満帆な場所、時代には逆立ちしてもおきません。今のような大きな変化に立ち向かうとうるときにはじめてチャンスが来ます。農業に飛び込んだ人たちがワクワクしたように、変化が求められる医療業界の中にいる僕も最高にワクワクしています。男性女性、LGBT、若年、高齢者、子育て中、介護中、地元、遠くからの通勤、日本人、外国人、デジタルとアナログ好き。一緒にワクワクしませんか。この糸魚川からSDGs、イノベーション、多様性というキーワードを旗印に、働きやすい病院、高度医療、慢性期医療、地域医療、医療人教育を始めましょう。そして糸魚川市民を幸せにしましょう。

糸魚川総合病院 病院長：山岸 文範

病院概要

診療科目	内科(循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内分泌内科、神経内科)・小児科・外科・脳神経外科・産婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・精神科・麻酔科・心臓血管外科・呼吸器外科・消化器外科・救急科・リハビリテーション科・放射線科・歯科
許可病床数	一般 261床 内訳 急性期病棟 165床(うち、救急優先 10床) 地域包括ケア病棟 47床 慢性期病棟 49床
付属施設	訪問看護ステーション「いといがわ」 健診センター「すこやか」 富山大学附属病院 膵臓・胆道センターサテライト

全館案内

	本 院	救急外来棟
6F	理髪・コインランドリー	
5F	第4病棟 内科・産婦人科・小児科・眼科 第3病棟 内科	
4F	第2病棟 地域包括ケア病棟 第1病棟 整形外科・外科・脳神経外科・心臓血管外科	健診センター「すこやか」 災害治療ホール
3F	第5病棟 慢性期病棟 人工透析室・手術室	
2F	各外来・リハビリテーション科・検査室	通院治療室・生理検査室
1F	各外来・薬局 放射線科・内視鏡室 医療福祉相談室・地域包括支援センター 地域医療連携室・居宅介護支援事業所 訪問看護ステーション「いといがわ」 感染防止対策室・医療安全管理室・医事課	内科外来 中央処置室 救急外来(ER)



充実した医療機器と設備による良質な医療の提供



CT(コンピュータ断層撮影)



ER(救急外来)



心臓カテーテル検査室



RI(核医学検査装置)



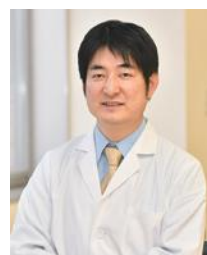
通院治療室(外来化学療法)

富山大学附属病院 膵臓・胆道センターサテライト



膵臓・胆道ドックで異常を疑ったら、センターの内科医師が超音波内視鏡検査・生検で1cm以下の小さながんを見つけ、外科医が高度な手術をおこなう。化学療法も含めて患者さんを救うために最善の医療を糸魚川で実践しています。

私が検査を担当します



私が治療を担当します



診療科の紹介



消化器 内科



消化管(食道、胃、小腸、大腸)、肝臓、膵胆道疾患に対する診療を行っています。早期癌に対する内視鏡治療、悪性腫瘍に対する化学療法(抗がん剤治療)、炎症性腸疾患の薬物療法、総胆管結石、閉塞性黄疸に対する内視鏡治療等、幅広い分野で専門的、標準的治療を行っています。

循環器 内科



心不全、不整脈、狭心症、心筋梗塞、心筋症、弁膜症、高血圧症、動脈硬化症などの分野を担当。心臓超音波検査、冠動脈CT、心臓核医学検査、心臓カテーテル検査など設備面でも体制が整ってきており、狭心症、心筋梗塞に対するカテーテル治療や徐脈性の不整脈に対するペースメーカー植え込み術も可能となっております。

腎・透析 内科



糸球体腎炎(無症候性血尿・蛋白尿、ネフローゼ症候群)、糖尿病性腎症、慢性腎臓病(CKD)など、腎疾患の診断と治療を行っています。必要に応じて経皮的腎生検を行い、適切な診断と治療を行います。また、末期腎不全に対する腎代替療法として血液透析を行っています。

糖尿病・ 内分泌 内科



糖尿病、脂質異常症、内分泌異常(甲状腺、下垂体、副甲状腺、副腎)などの分野を担当。検査は、糖尿病合併症検査、甲状腺超音波検査を行っています。重篤な高血糖で緊急治療を要する場合、糖尿病教育、インスリン導入、糖尿病食体験などの目的や内分泌疾患の入院も行っています。

消化器 一般 外科



外科は皮膚を切り体外から病気を切除する、傷んだ臓器を修理する手術を行う科です。薬で治療不可な病気が対象で、癌、炎症、外傷、変性疾患など多彩です。糸魚川では複数の病気をもつ高齢者の手術も多く、麻酔、術後管理も含め、必要不可欠な領域です。あなたも一緒に働いてみませんか？

脳神経 外科



令和3年度より2人体制となり、脳卒中、頭部外傷、痙攣など神経救急医療が24時間可能となりました。脳腫瘍摘出術、頸動脈内膜剥離術、バイパス手術なども行っています。退院後フォロー、頭痛外来など通じて地域完結型の総合的な神経疾患に対する医療を提供できるよう心がけています。

産婦人科



若い女性の生理痛から閉経後の女性のいろいろなトラブルまで女性の悩みや病気に関する診療を行っています。糸魚川市との連携のもと安心安全快適な妊娠出産ができるように取り組んでいます。婦人科疾患も含め当院で対応できない場合は富山大学や県立中央病院へ速やかに紹介しています。

小児科



2名の常勤医師による一般外来と専門医による特殊外来があり、さらに糸魚川市内で唯一の小児患者さんの入院が可能な施設となっております。さらに充実を図るために糸魚川市内の開業医、市役所、教育委員会、小中学校の養護教諭などと連携して診療に臨んでいます。

整形外科



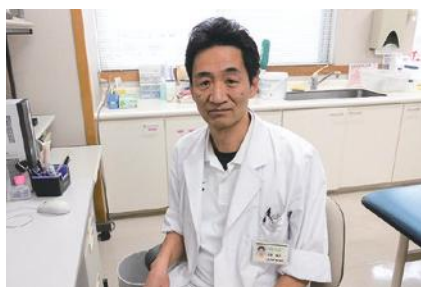
関節の痛み、くび・こしの痛み、手足の痛み、しびれ、スポーツによる障害、関節リウマチ、ケガの治療を行います。変形性関節症に対する人工膝関節手術、人工股関節手術、腰部脊柱管狭窄症に対する腰椎後方手術、スポーツによる膝半月板損傷、靱帯損傷の関節鏡手術に力を入れています。

眼科



超音波白内障手術装置を使用した、小切開白内障手術を年間300件ほど行っております。また、加齢黄斑変性治療ならびにマルチカラーレーザー装置およびYAGレーザー装置を用いたレーザー手術も行っております。

心臓血管外科・呼吸器外科



平成19年より血管外科外来を行っています。血管外科で扱う主な病気は、閉塞性動脈硬化症、動脈瘤、静脈瘤、深部静脈血栓症(いわゆるエコノミークラス症候群の元になる病気)などです。

麻酔科



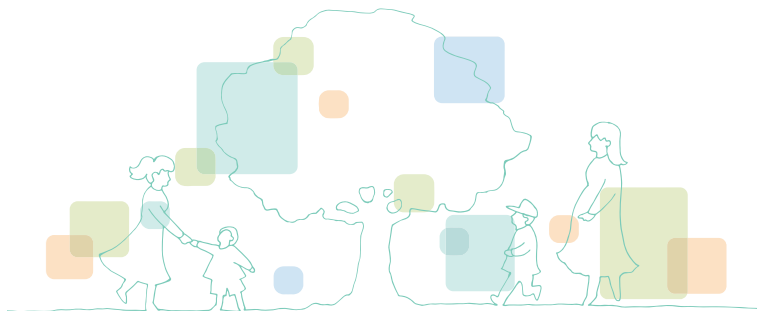
手術治療を受けられる患者さんの痛みやストレスを出来るかぎり軽減し、手術中の全身管理を行います。高齢化に伴い、さまざまな合併症をお持ちの患者さんが多くなっていますが手術前検査や問診、診察の結果をふまえ、麻酔計画を立てて合併症の予防に努めます。

歯科



歯科外来では義歯や冠・ブリッジの製作、調整を中心とした一般歯科診療を行っています。患者さんは病院他科との併診の方も多く必然的に全身疾患へ配慮した歯科治療の遂行を常々心がけております。また病棟患者さんに対する口腔ケアも日常業務の一環としています。

部門の紹介



看護部



優しさと働きがい

看護部の理念「私たちは一人ひとりを尊重し、心によりそう看護・介護を提供します。」のもと、その人らしい生活が送れるように支援しています。

そして私たちの仕事は急性期医療から慢性期、訪問看護、手術室、内視鏡、心臓カテーテルまでとても多様です。また認定看護師取得などキャリア形成もがんばっています。

ここで一緒に仕事をしましょう♪

薬剤部



クスリのことなら任せろ、プロだぜ

薬剤部は医療スタッフの一員として、患者さん中心の質の高い医療を提供することを心掛けております。薬剤の専門家として分子標的薬、免疫治療薬、抗ウイルス抗体薬など最先端の医療に対応しながら患者さんにとってより良い医療を提供しています。

リハビリテーション科



患者さんの喜ぶ顔がうれしい

患者さんはもちろんそのご家族にもより良いリハビリが提供できるよう努めています。また、運動障害から子供たちの体を守るためのスポーツリハビリ、今後増加傾向の心臓疾患などのための心臓リハビリも実施しています。

放射線科



メンバー全員、デジタル好き

放射線検査装置を使って診断や処置の補助が主な業務になります。また、当院ではCT、MRI、RIガンマカメラなど高度な検査もおこなっています。他に検診、ドックでの胸部、胃、乳房、骨密度検査などもおこなっています。

検査科



まじめで正確をモットーに

当科は検体検査・生理検査・病理検査の部門で多岐にわたる検査を実施しています。新しい抗がん剤が有効かを調べる遺伝子検査、病気の経過や治療効果、重症度の評価を診断するために迅速正確な仕事と、患者さんが安心して診療を受けられることを目指しています。

栄養科

温かいものは
温かく、冷たい
ものは冷たく、
こころは暖かく

糖尿病や脂質異常症などだけではなく、飲み込む力に合わせた食事やがんの治療による食欲低下時の食事指導も行っています。「わかりやすく、取り組みやすい内容」を心掛けてお話をさせていただいています。



臨床 工学科

命のエンジ
ニアです！

【臨床工学技士】を知っていますか？ 医師の指示で肺や心臓、腎臓や肝臓等の機能の一部を代替え、または補助する様々な医療装置（一まとめに生命維持管理装置）の操作や設定、保守管理等を行います。基礎である医学と工学の知識を応用して、生命を支える医療装置を安全・確実に取扱う“命のエンジニア”…それが私達です。当院に6名が在籍しています。



健診 センター

糸魚川総合病院で早期発見・早期治療を ～健診から治療まで～



最先端の膵臓・胆道ドックに注目！

「健診センター」では、一日人間ドック・協会けんぽ事業所健診をはじめ、糸魚川市住民健診、また、JA組合員総合健診など様々な健診を実施、また、専門性の高い脳ドック、肺ドック、膵がん胆道がんドックなど多くのオプション検査を揃え、がんやその他の病気の早期発見を目指すとともに生活習慣の予防・改善に努め、地域住民の皆様の健康管理のお手伝いをさせていただいております。

地域連携 支援部

人と命をつなぐ

医療機関の中で、病院内外の関係する様々な部門や機関、病院、施設との連携を行う部門です。医療・介護・福祉のプロとして協力・協働しながら、各職種の強みをいかして、「つなぐ部門」の役割を担っています。

医療福祉相談室

医療機関において、治療・介護・費用・制度等幅広い相談に対応する部署です。看護師と社会福祉士が担当しており、医療チームの一員として内外の組織と連携しながら、患者さんやご家族と共に考え、生活を支えるお手伝いをしています。

地域包括支援センター

地域で生活する高齢者の何でも相談窓口です。介護、福祉、健康など、さまざまな相談に応じ、ご支援します。担当地域は浦本、大和川、下早川、上早川です。どうぞお気軽にご相談ください。

訪問看護ステーション

訪問看護は、病気や障害をお持ちの方のご自宅へ出向き、医師の指示のもと看護サービスを提供します。小児から高齢者まで、予防看護から看取りまで、経験豊かなスタッフが住み慣れたご自宅で安心をお手伝いします。

地域医療連携室

専門医療機関やかかりつけ医との連携をとりながら、地域で患者さんが安心して適切な医療を受けられるように連携に努めています。病院間での転入、転出調整の相談窓口にもなります。医療情報などの広報活動もおこなっております。

居宅介護支援事業所

介護についてのお困り事や在宅療養に対する不安などをケアマネジャーにご相談ください。心身の状況や生活環境を確認させていただき、ご本人やご家族が住み慣れたご自宅で安心して過ごせるようにサポートしています。





SDGs 持続可能な開発目標

今、このパンフレットを眺めている若いあなたの未来のために、そしてあなたの家族が安心して住み続けることのできる街づくりのために糸魚川総合病院はSDGsへの貢献を意識しています。

※SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略でエスディー・ジー・ズと読みます。日本語では「持続可能な開発目標」と言います。2030年までに世界が達成すべき“誰一人取り残さない社会”へのゴールを表したもので17の目標と169のターゲットがあります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



糸魚川総合病院のSDGsへの取り組み

3 すべての人に健康と福祉を



全てのの人に健康と福祉を

24時間断らない救急(ER)。DMAT活動、耐震構造の救急棟。感染症対策にPCR検査装置の導入。



▲DMATの拠点となる災害治療ホール



▲最新のPCR検査装置

4 質の高い教育をみんなに



質の高い教育をみんなに

研修医と医学生、看護学生、外国人技能実習生教育の実践。市との共同事業として医学生・看護学生への奨学金提供。研修医の教育効果を測定するJAMEPの試験では国内のトップ10%の成績です。



▲研修医と医学生の勉強会



◀外国人技能実習生

8 働きがいも
経済成長も



働きがい

働き方改革への先進的な取り組み。女性専用の真新しい休憩室の整備。



▲働き方改革講演会



▲新女子休憩室



▲新女子更衣室

9 産業と技術革新の
基盤をつくる



技術革新

AIを使った臨床研究と働きかた改革
Prediction OneなどのAIを駆使して
未来を予測する研究。



11 住み続けられる
まちづくりを



住み続けられる まちづくり

安心して出産できる病院機能の維持。



▲LDR室(落ち着いた雰囲気の分娩室)

12 つくる責任
つかう責任



生産・消費

地元食材を使った病院食。新しい配膳車でより温かい食事を。



▲温かいもの、冷たいものを
おいしく届けます



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



パートナーシップ

大学病院との協定により先進医療の推進＝脾臓・胆道センター。
海外との協定＝クイーンメディカルセンター、クワキニメディカルセンターへの短期留学。



糸魚川ってどんなところ？

糸魚川市は新潟県の最西端に位置し、長野県・富山県と接しています。海や山に囲まれ、自然に恵まれた環境は、人々の豊かな心を育みました。平成21年日本で初めて世界ジオパークに認定されました。



写真提供：(一社)糸魚川市観光協会

仕事や勉強で疲れた時、ここを癒してくれる場所「谷村美術館」。北陸新幹線沿いの一度は訪れるべき美術館として金沢21世紀美術館、長野市の東山魁夷美術館とともに紹介されるスポットです。



写真提供：(一社)糸魚川市観光協会

古くから祭りの盛んな土地柄で、特に春のけんか祭り、夏のおまんた祭りは、街全体が祭り一色になります。おまんた祭りの市民流しは様々な団体が踊りを競い合い、当院も毎年参加しています。



国立公園の山々に囲まれているので、グリーンシーズンはトレッキングや登山、冬はスキーと、気軽に山を楽しめます。長野県白馬も近く、本格派の方も満足できます。



写真提供：(一社)糸魚川市観光協会

海の幸山の幸が豊富で、四季折々の味覚が楽しめます。カニや甘エビ、アンコウなど獲れたての魚介類は絶品。米はコシヒカリ、B級グルメのブラック焼きそばも人気です。



写真提供：(一社)糸魚川市観光協会

糸魚川は5つの酒蔵がある、県内でも有数の酒どころ。甘口から淡麗辛口まで伝統を守って作られる酒とともに、ヨーロッパへ販路を広げた新しいタイプの日本酒まで。その味わいは群を抜いています。



新潟県厚生農業協同組合連合会

糸魚川総合病院



025-552-0280



itohosp@guitar.ocn.ne.jp

糸魚川総合病院

検索

〒941-8502 新潟県糸魚川市大字竹ヶ花457番地1 FAX.025-552-3819 <https://www.itoigawa-hp.jp/>

